



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月12日

上場会社名 株式会社エンバイオ・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6092 URL <https://enbio-holdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西村 実
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 長谷川 忠玄 TEL 03 (5297) 7155
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,668	38.9	715	84.3	810	104.7	480	99.6
2022年3月期第1四半期	1,921	△19.0	388	8.4	396	2.2	240	△11.1

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 467百万円 (93.6%) 2022年3月期第1四半期 241百万円 (△23.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	72.28	-
2022年3月期第1四半期	36.23	36.18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	16,709	6,388	37.7	948.66
2022年3月期	16,370	5,973	36.0	886.12

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 6,301百万円 2022年3月期 5,888百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	8.00	8.00
2023年3月期	-	-	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	0.00	-	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,377	△6.8	841	△31.5	710	△40.7	315	△51.8	47.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	6,675,200株	2022年3月期	6,675,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	32,344株	2022年3月期	30,344株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	6,644,197株	2022年3月期1Q	6,639,525株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、業績の予想等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況が徐々に緩和され、企業の経済活動や個人消費には持ち直しの動きが見られる一方、ウクライナ情勢の影響による原材料やエネルギー価格の高騰、物価上昇や金融・為替市場の変動など世界経済の下振れリスクも顕在化しつつあり、引き続き注視が必要な厳しい環境下にあります。

当社グループの業績に大きな影響を及ぼす不動産業においては、働き方改革や在宅勤務等の新しい暮らし方が住宅需要を押し上げ、金融緩和政策の継続等による下支えの効果も加わり、国内外投資家の投資意欲は引き続き旺盛であり、不動産マーケットは堅調な推移を見せております。

また、建設業におきましては、民間建設投資において、アフターコロナを見据えた設備投資意欲の向上及び国土強靱化計画等を背景とする関連予算の執行により、公共建設投資は一定の底堅さではありますが、受注競争の激化や建設資材の価格高騰等の影響もあり、厳しい事業環境が続いており、先行きについては引き続き注視が必要な状況となっております。

このような情勢のもと、土壌汚染対策事業を中心にグループの総合力を活かして、ブラウンフィールド活用事業や自然エネルギー事業を積極的に展開いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,668,961千円(前年同四半期比38.9%増)となりました。経常利益は810,621千円(同104.7%増)となりました。活況な不動産市場の旺盛な需要に支えられ、ブラウンフィールド活用事業における物件の販売が順調に推移し、売上高及び利益ともに期初計画を大きく上回る着地となり、増収増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は480,271千円(同99.6%増)となりました。

以下に各セグメントの状況を報告いたします。

①土壌汚染対策事業

土壌汚染対策工場の引き合いは不動産市場が活況なため旺盛ですが、用地仕入の競争が厳しく土地の価格が高騰しており、それに加えてインフレによる建築資材価格の高騰が相まって計画が頓挫する案件も散見されてきました。完全浄化ではなく経済合理性を追求し土壌汚染の管理を目的とした対策(リスク管理型手法)や土壌汚染対策費用を保証するための調査など差別化された提案に注力しておりますが、受注環境は予断を許さない状況です。当第1四半期連結会計期間においては、前年受注した工事進行中の大型案件の原価率改善が進んだことから増収増益となりました。

変化する受注環境に対応するべく、リスク管理型手法の有力工法として米社から新たな原位置透過壁工法を導入いたしました。また、土壌汚染対策工事で培った地下水処理設備を中心とした環境設備の設計・製作・設置事業の営業を開始いたしました。さらに企業のM&Aの活発化に伴いニーズが増加している環境DD(デューデリジェンス)の専門部署を開設して営業を開始いたしました。

中国では日系企業の工場移転、事業撤退に伴う土壌汚染対策に注力しておりますが、当第1四半期連結会計期間では上海市の都市封鎖や江蘇省内の移動制限により新規営業活動が停滞し、既受注案件の生産活動に終始いたしました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は1,273,356千円(同34.4%増)となり、セグメント利益は190,902千円(同9.2%増)となりました。

②ブラウンフィールド活用事業

株式会社エンバイオ・リアルエステートでは、大手仲介業者や銀行系仲介業者を中心に相対で進められる案件の情報収集を行い、1物件を仕入れました。また、別途8物件の仕入れ契約を行いました。販売においては、4物件の販売を行い、そのうち3物件は購入意欲の高い戸建業者や賃貸マンション開発業者に売却しました。販売した物件の中には、2年間モニタリングを行い要措置区域の指定を解除した後に売却した物件もあります。

大規模な土壌汚染地を扱う株式会社土地再生投資では、厚木市内案件のリースバック期間が満了し、第2四半期連結会計期間以降に解体・土壌浄化工事を実施してまいります。また、デベロッパー等への土壌汚染コンサルティング業務や土壌調査等の受注斡旋業務を10件受託いたしました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は952,654千円(同74.1%増)となり、セグメント利益は361,793千円(同447.6%増)となりました。

③自然エネルギー事業

当第1四半期連結会計期間末日における国内外の再生可能エネルギー発電所は開発中含め41か所、総発電量46MW(うち稼働中は約40MW)となっております。なお、所有・管理している各発電所からは、ほぼ計画通りの安定した売電収入が得られました。

FIT価格は低下しておりますが、クリーンエネルギー需要の拡大に伴い、現状当社を取り巻く環境を新たなビジネスチャンスと捉えております。海外を含む新規案件の情報収集、セカンダリー発電所やコーポレートPPA案件、再生可能エネルギーを用いた新たなビジネススキームの検討に注力しております。

[国内]

北海道において建設中の太陽光発電所(約2,235kW)は当初の予定通りに進捗しております(2022年7月21日稼働済)。

株式会社エンバイオC・エナジーにて株式会社シーアールイーが開発する物流施設「ロジスクエア」の屋根を活用したグリーン電力供給の準備を開始しております。

[海外]

ヨルダンにおける第4号案件は2022年4月1日に稼働しております。第5号案件(2023年1月完成予定)におきましては、開発に着手いたしました。また、ドバイにて開発中の第1号案件(2022年11月完成予定→1、2ヵ月程度の遅れ)におきましては、若干の遅れが発生しているものの、概ね予定通りに進捗しております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は442,950千円(同3.9%増)となり、セグメント利益は185,901千円(同6.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産につきましては、総資産は16,709,898千円となり、前連結会計年度末に比べ339,615千円増加いたしました。これは主に棚卸資産が312,040千円、受取手形、売掛金及び契約資産が169,633千円及び投資その他の資産が20,348千円減少したものの、現金及び預金が606,165千円、有形固定資産が131,024千円及びその他流動資産が106,527千円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、10,321,295千円と前連結会計年度末に比べ74,992千円減少いたしました。これは主に短期借入金が215,000千円増加したものの、1年内返済予定の長期借入金が155,702千円及び未払法人税等が139,706千円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、6,388,602千円と前連結会計年度末に比べ414,607千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が427,172千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日公表の「2022年3月期 決算短信」の「2023年3月期の連結業績予想」を修正いたしました。詳細は2022年8月12日公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、連結業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,371,635	2,977,800
受取手形、売掛金及び契約資産	1,608,637	1,439,003
棚卸資産	1,849,053	1,537,013
その他	644,717	751,244
貸倒引当金	△15,084	△7,976
流動資産合計	6,458,959	6,697,086
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	489,526	471,900
機械装置及び運搬具(純額)	4,202,505	4,154,474
土地	3,019,358	2,971,314
建設仮勘定	191,269	433,735
その他(純額)	11,618	13,878
有形固定資産合計	7,914,277	8,045,302
無形固定資産		
のれん	118,090	116,088
その他	427,562	420,377
無形固定資産合計	545,653	536,465
投資その他の資産	1,451,392	1,431,044
固定資産合計	9,911,323	10,012,812
資産合計	16,370,283	16,709,898
負債の部		
流動負債		
買掛金	620,798	679,751
未払金及び未払費用	73,089	117,352
短期借入金	645,000	860,000
1年内返済予定の長期借入金	1,276,700	1,120,998
未払法人税等	315,263	175,556
契約負債	345,539	339,704
賞与引当金	50,000	5,528
工事損失引当金	2,704	2,679
その他	116,940	167,737
流動負債合計	3,446,036	3,469,309
固定負債		
社債	36,500	22,500
長期借入金	6,624,412	6,550,767
資産除去債務	115,317	115,468
デリバティブ債務	133,801	99,707
その他	40,219	63,542
固定負債合計	6,950,252	6,851,986
負債合計	10,396,288	10,321,295

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,797,334	1,797,334
資本剰余金	1,876,574	1,876,574
利益剰余金	2,352,607	2,779,779
自己株式	△15,421	△15,421
株主資本合計	6,011,094	6,438,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,940	△15,302
繰延ヘッジ損益	△99,504	△74,108
為替換算調整勘定	△17,482	△47,061
その他の包括利益累計額合計	△122,926	△136,471
非支配株主持分	85,827	86,807
純資産合計	5,973,994	6,388,602
負債純資産合計	16,370,283	16,709,898

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	1,921,231	2,668,961
売上原価	1,239,336	1,608,784
売上総利益	681,895	1,060,177
販売費及び一般管理費	293,637	344,595
営業利益	388,258	715,581
営業外収益		
受取利息及び配当金	30,443	13,632
為替差益	1,305	103,370
貸倒引当金戻入額	5,288	7,107
受取家賃	1,251	1,222
その他	4,062	1,785
営業外収益合計	42,351	127,118
営業外費用		
支払利息	32,315	30,820
支払手数料	997	610
その他	1,215	646
営業外費用合計	34,528	32,078
経常利益	396,081	810,621
特別利益		
新株予約権戻入益	304	-
特別利益合計	304	-
特別損失		
減損損失	44,100	78,111
特別損失合計	44,100	78,111
税金等調整前四半期純利益	352,284	732,510
法人税、住民税及び事業税	89,615	218,178
法人税等調整額	23,184	33,246
法人税等合計	112,800	251,424
四半期純利益	239,484	481,085
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,085	813
親会社株主に帰属する四半期純利益	240,569	480,271

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	239,484	481,085
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,170	△9,361
繰延ヘッジ損益	△18,238	25,562
為替換算調整勘定	45,509	△29,579
その他の包括利益合計	2,101	△13,378
四半期包括利益	241,585	467,706
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	244,128	466,727
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,542	979

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(有形固定資産から販売用不動産への振替)

当第1四半期連結累計期間において、賃貸等不動産として使用される有形固定資産のうち、92,162千円を所有目的変更により販売用不動産に振替えております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	土壌汚染 対策事業	ブラウンフ ィールド 活用事業	自然エネルギ ー事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	947,706	547,092	426,433	1,921,231	-	1,921,231
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,515	2,850	-	10,365	△10,365	-
計	955,221	549,942	426,433	1,931,597	△10,365	1,921,231
セグメント利益	174,861	66,065	174,536	415,463	△19,382	396,081

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△203,327千円及び報告セグメントに属しない親会社に係る損益183,945千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「土壌汚染対策事業」セグメントにおいて44,100千円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	土壌汚染 対策事業	ブラウンフ ィールド 活用事業	自然エネルギ ー事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,273,356	952,654	442,950	2,668,961	-	2,668,961
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,140	4,850	-	5,990	△5,990	-
計	1,274,496	957,504	442,950	2,674,951	△5,990	2,668,961
セグメント利益	190,902	361,793	185,901	738,597	72,024	810,621

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△230,260千円及び報告セグメントに属しない親会社に係る損益302,285千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ブラウンフィールド活用事業」セグメントにおいて78,111千円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。